



芝浦工業大学校友会
広島支部総会(2017.11.17) 資料

芝浦工業大学

SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
Established 1927
Tokyo

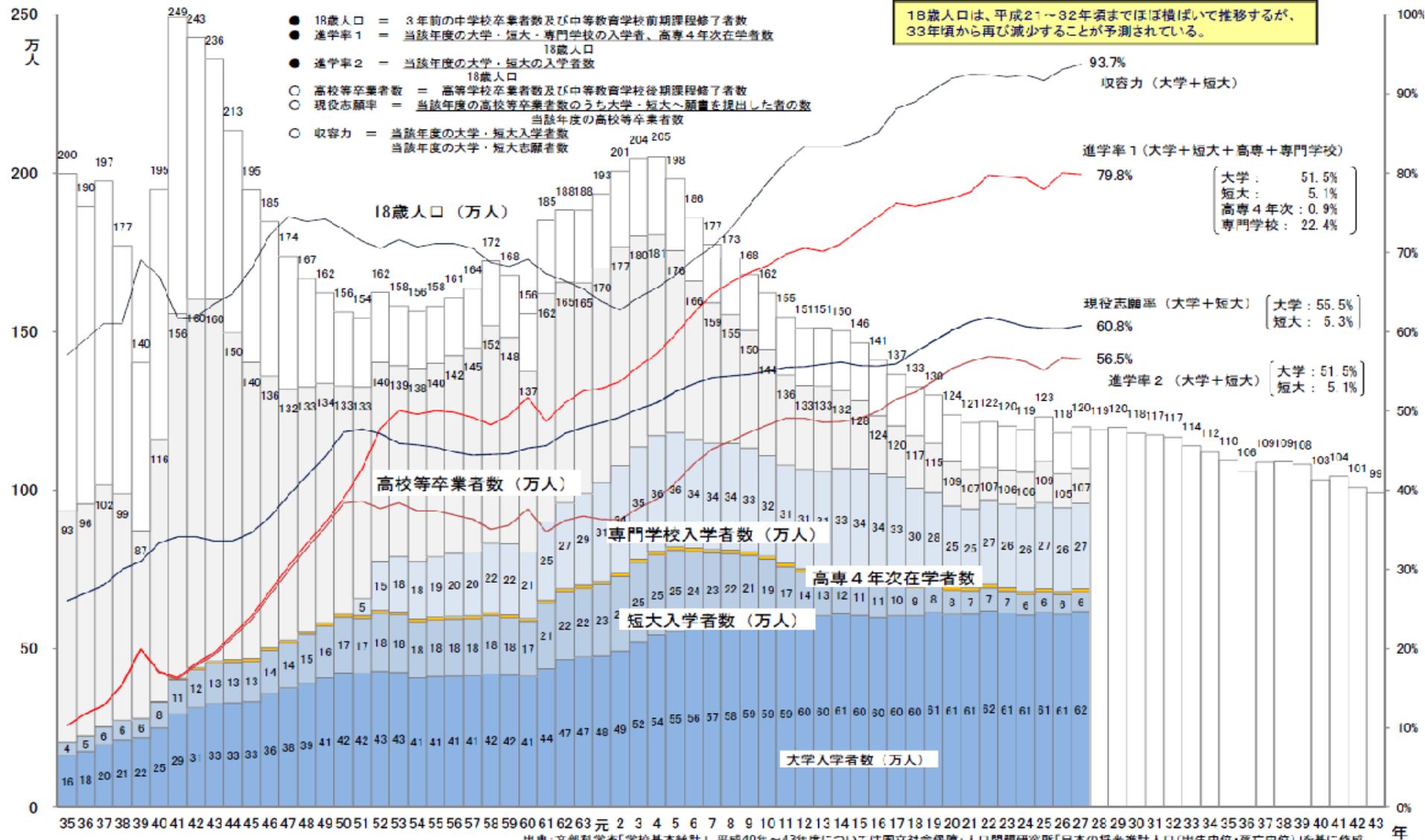
地方出身者の状況
…… **芝浦工業大学では**

早乙女 徹

1. 18歳人口と大学進学率等

18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移

資料3-6



出典：文部科学省「学校基本統計」、平成40年～43年度については国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(出生中位・死亡中位)」を基に作成
 ※進学率、現役志願率については、少数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

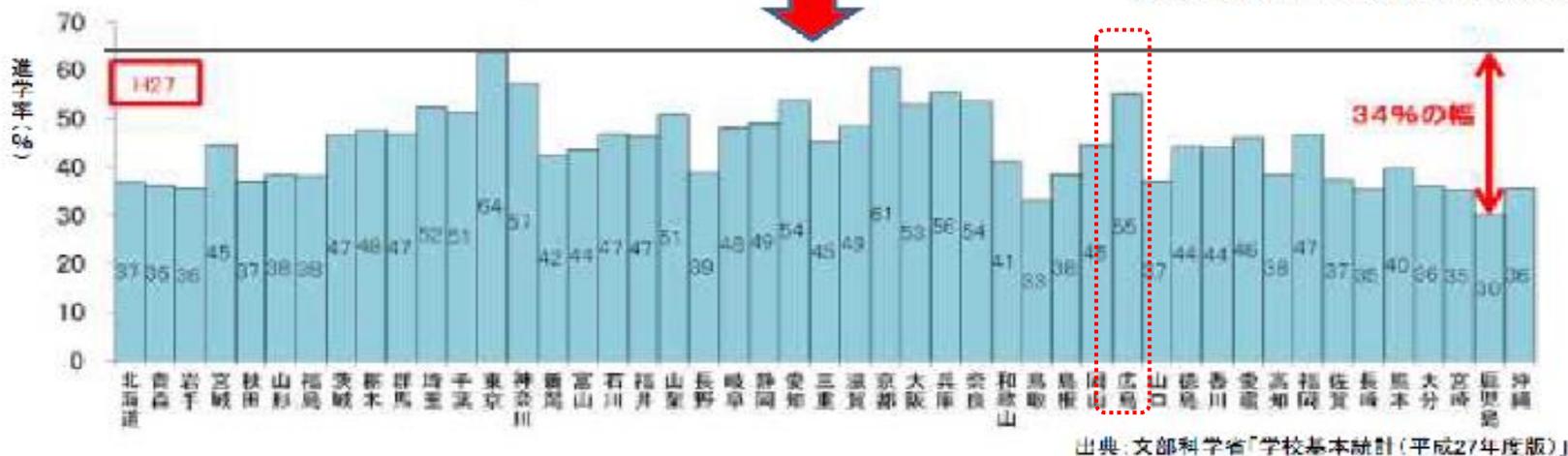
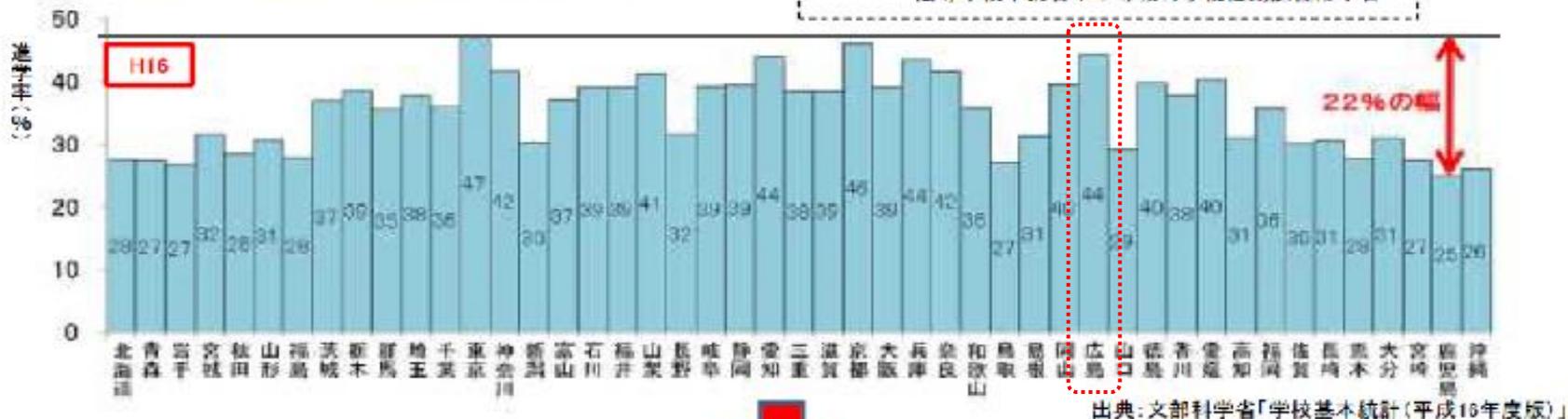
2. 都道府県別大学進学率: 全国の状況

大学進学率の地域間格差

○都道府県別の大学進学率の格差(最も高い県の進学率と最も低い県の進学率の差)は、10年間で10%以上拡大している(22%→34%)。

○都道府県別高校新卒者の大学進学率

(計算式) $\frac{\text{直ちに大学(学部)に進学した者}}{\text{高等学校卒業者} + \text{中等教育学校後期課程修了者}}$



3. 広島県の高校生の行方

広島県内高校の大学への進学者数<流出先>
(平成29年4月入学者)

合計			男子			女子		
進学先大学の所在地	実人数	県内 大学進学者 における割合	進学先大学の所在地	男子実人数	県内男子 大学進学者 における割合	進学先大学の所在地	女子実人数	県内女子 大学進学者 における割合
1 広島	7,815	52.1%	1 広島	3,840	48.0%	1 広島	3,975	56.9%
2 東京	923	6.2%	2 大阪	530	6.6%	2 岡山	444	6.4%
3 岡山	902	6.0%	3 東京	520	6.5%	3 東京	403	5.8%
4 大阪	870	5.8%	4 岡山	458	5.7%	4 大阪	340	4.9%
5 京都	704	4.7%	5 京都	368	4.6%	5 京都	336	4.8%
6 福岡	554	3.7%	6 福岡	367	4.6%	6 兵庫	277	4.0%
7 兵庫	523	3.5%	7 山口	263	3.3%	7 福岡	187	2.7%
8 山口	442	2.9%	8 兵庫	246	3.1%	8 山口	179	2.6%
9 愛媛	376	2.5%	9 愛媛	234	2.9%	9 愛媛	142	2.0%
10 神奈川	277	1.8%	10 神奈川	159	2.0%	10 神奈川	118	1.7%
11 島根	216	1.4%	11 島根	128	1.6%	11 島根	88	1.3%
12 滋賀	146	1.0%	12 滋賀	114	1.4%	12 鳥取	41	0.6%
13 埼玉	105	0.7%	13 埼玉	74	0.9%	13 高知	40	0.6%
14 愛知	102	0.7%	14 愛知	64	0.8%	14 千葉	38	0.5%
15 千葉	99	0.7%	15 千葉	61	0.8%	15 愛知	38	0.5%
16 高知	90	0.6%	16 北海道	51	0.6%	16 滋賀	32	0.5%
17 鳥取	75	0.5%	17 高知	50	0.6%	17 埼玉	31	0.4%
18 北海道	71	0.5%	18 大分	42	0.5%	18 奈良	30	0.4%
19 香川	68	0.5%	19 香川	40	0.5%	19 香川	28	0.4%
20 奈良	60	0.4%	20 鳥取	34	0.4%	20 茨城	22	0.3%
21 大分	59	0.4%	21 鹿児島	33	0.4%	21 北海道	20	0.3%
22 茨城	50	0.3%	22 長崎	31	0.4%	22 長崎	18	0.3%
23 長崎	49	0.3%	23 奈良	30	0.4%	23 徳島	17	0.2%
24 鹿児島	40	0.3%	24 茨城	28	0.3%	24 大分	17	0.2%
25 静岡	37	0.2%	25 静岡	27	0.3%	25 宮崎	16	0.2%
26 徳島	36	0.2%	26 熊本	20	0.2%	26 岐阜	12	0.2%
27 宮崎	36	0.2%	27 宮崎	20	0.2%	27 山梨	10	0.1%
28 岐阜	30	0.2%	28 徳島	19	0.2%	28 静岡	10	0.1%
29 熊本	28	0.2%	29 岐阜	18	0.2%	29 沖縄	10	0.1%
30 石川	25	0.2%	30 石川	17	0.2%	30 石川	8	0.1%
31 山梨	23	0.2%	31 宮城	14	0.2%	31 熊本	8	0.1%
32 沖縄	21	0.1%	32 山梨	13	0.2%	32 長野	7	0.1%
33 宮城	19	0.1%	33 三重	12	0.1%	33 和歌山	7	0.1%
34 和歌山	18	0.1%	34 和歌山	11	0.1%	34 鹿児島	7	0.1%
35 長野	16	0.1%	35 沖縄	11	0.1%	35 群馬	6	0.1%
36 三重	15	0.1%	36 長野	9	0.1%	36 宮城	5	0.1%
37 佐賀	13	0.1%	37 新潟	8	0.1%	37 佐賀	5	0.1%
38 秋田	10	0.1%	38 佐賀	8	0.1%	38 秋田	4	0.1%
39 栃木	10	0.1%	39 秋田	6	0.1%	39 栃木	4	0.1%
40 新潟	10	0.1%	40 栃木	6	0.1%	40 三重	3	0.0%
41 群馬	9	0.1%	41 岩手	4	0.0%	41 新潟	2	0.0%
42 福井	5	0.0%	42 山形	3	0.0%	42 福井	2	0.0%
43 岩手	4	0.0%	43 福島	3	0.0%	43 富山	1	0.0%
44 山形	3	0.0%	44 群馬	3	0.0%	44 青森	0	0.0%
45 福島	3	0.0%	45 福井	3	0.0%	45 岩手	0	0.0%
46 富山	2	0.0%	46 富山	1	0.0%	46 山形	0	0.0%
47 青森	0	0.0%	47 青森	0	0.0%	47 福島	0	0.0%
その他			その他			その他		
計	14,989	100.0%	計	8,001	100.0%	計	6,988	100.0%

※文部科学省『平成29年度学校基本調査(速報)』より算出。

4. 都内大学の首都圏高校出身者シェア増加

- (1) **増える首都圏高卒: 30年間で1.4倍に**(2016.5月 朝日新聞)
都内有名大(東大・東工大・一橋大・早稲田・慶應義塾大)では、
首都圏(東京都、埼玉・千葉・神奈川県)高校主出身者が増加。

※ 首都圏の高校生数が全国に占める割合はほぼ一定(25~26%)

	東大	東工大	一橋大	早稲田	慶應義塾大
1986年	47.3%	61.6%	44.7%	51.8%	56.0%
2016年	55.2%	74.7%	69.4%	73.9%	72.6%

- (2) **首都圏高校集中化の進む理由**

仕送りの負担増

- ・仕送り月額平均: 86,700円(2015 東京私大教連)
- ・地方出身の入学年負担額平均: 約299万円(2010 東京私大教連)

親子ともに地元志向(親子の意識変化など)

- ・子どもを遠方に出さない親
- ・親の経済力を頼り地元を離れない子ども
- ・インターネットの普及による情報地域間格差の解消

5. 大学側の対応

(1) **学生の多様性が大学の活性化を生む → 地方出身学生の獲得**

(2) **地方を意識した入試制度の創設**

- ・地域貢献型人材発掘入試：早稲田大学

地元への貢献策を求め、地域性を重視して選考する。

入学者に奨学金給付、学費減免を実施。

- ・地域定員枠(全国7地域)を設けた学生募集：慶応義塾大学

(3) **各種奨学金制度の創設**

- ・目白の杜奨学金(1都3県以外出身者向け給付)：学習院大学

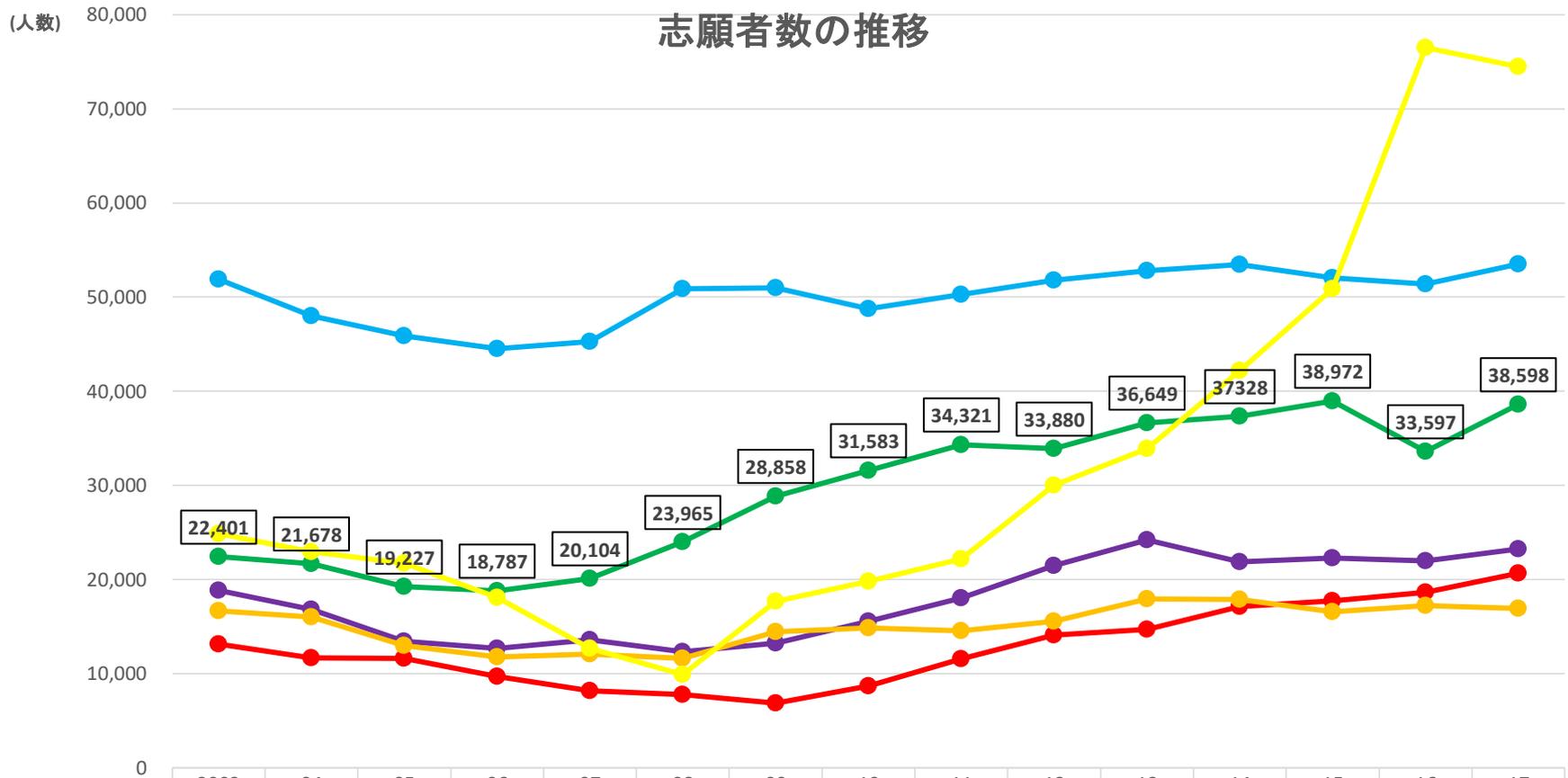
- ・めざせ！都の西北奨学金(地方出身向け授業料免除)：早稲田大学

- ・みらいへの奨学金(神奈川、東京以外出身者向け給付)：神奈川大学

- ・近畿圏以外出身者支援奨学金：立命館大学

6. 芝浦工業大学では

6-1 志願者数推移



	2003	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17
芝浦工業大学	22,401	21,678	19,227	18,787	20,104	23,965	28,858	31,583	34,321	33,880	36,649	37,328	38,972	33,597	38,598
工学院大学	13,105	11,667	11,599	9,695	8,162	7,782	6,850	8,674	11,569	14,090	14,676	17,134	17,725	18,613	20,665
東京電機大学	18,837	16,825	13,439	12,655	13,589	12,307	13,225	15,542	18,033	21,465	24,185	21,882	22,279	21,956	23,254
東京都市大学	16,639	15,996	12,964	11,733	12,079	11,615	14,449	14,853	14,516	15,533	17,928	17,893	16,580	17,218	16,920
東京理科大学	51,877	48,006	45,898	44,530	45,286	50,856	50,973	48,781	50,287	51,772	52,823	53,453	52,044	51,404	53,515
千葉工業大学	24,868	22,911	21,715	18,084	12,660	9,877	17,653	19,795	22,173	30,026	33,914	42,199	50,888	76,495	74,466

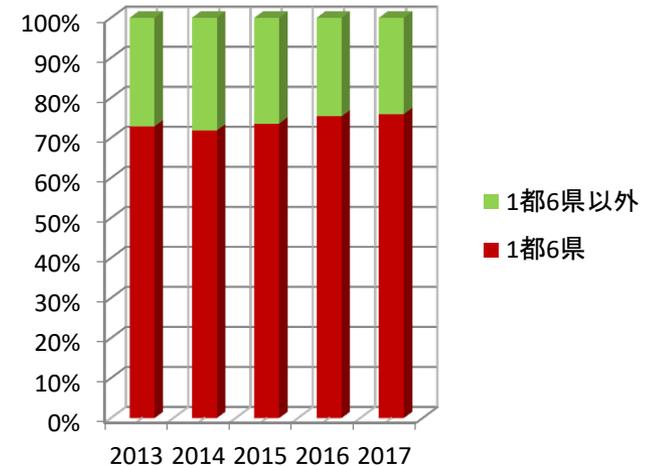
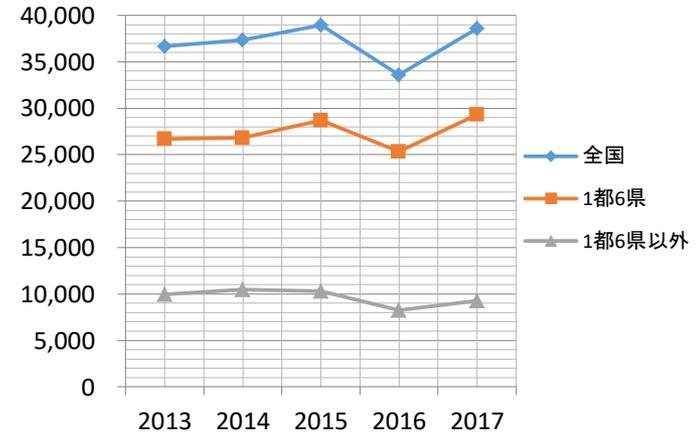
6. 芝浦工業大学では

6-2 都道府県別志願者状況

県名	2013	2014	2015	2016	2017
北海道	546	547	638	530	511
青森県	148	164	107	91	103
岩手県	174	153	135	116	131
宮城県	804	778	708	675	476
秋田県	127	110	73	100	104
山形県	209	226	186	110	198
福島県	546	646	532	365	427
茨城県	2,175	1,945	2,014	1,446	1,540
栃木県	1,228	1,265	1,261	1,179	1,131
群馬県	1,066	1,138	1,139	911	983
埼玉県	6,677	6,670	6,708	5,866	6,828
千葉県	3,648	3,352	3,936	3,215	3,637
東京都	8,476	8,714	9,300	8,838	10,500
神奈川県	3,443	3,746	4,317	3,864	4,691
新潟県	546	714	607	492	531
富山県	246	232	182	158	146
石川県	66	118	96	116	72
福井県	22	26	58	29	71
山梨県	347	349	300	326	442
長野県	812	919	678	619	865
岐阜県	221	237	211	114	147
静岡県	1,761	1,700	2,021	1,384	1,547
愛知県	702	811	864	730	701
三重県	115	163	140	157	136
滋賀県	8	12	7	12	46
京都府	20	41	84	39	45
大阪府	114	156	186	103	111
兵庫県	82	135	151	145	161
奈良県	25	23	16	12	34
和歌山県	68	23	22	24	22
鳥取県	46	15	15	21	26
島根県	10	31	33	14	22
岡山県	61	77	78	29	65
広島県	349	308	371	249	321
山口県	163	185	170	130	96

県名	2013	2014	2015	2016	2017
徳島県	31	7	26	70	23
香川県	78	76	64	81	41
愛媛県	102	89	89	105	119
高知県	60	52	65	63	18
福岡県	568	660	647	439	702
佐賀県	75	64	86	74	92
長崎県	93	67	63	84	94
熊本県	90	72	83	48	123
大分県	63	49	76	49	28
宮崎県	72	85	54	40	54
鹿児島県	128	113	100	96	156
沖縄県	44	40	46	50	53
検定	167	146	201	158	187
外国・他	27	79	33	31	21
合計	36,649	37,328	38,972	33,597	38,598

区分	2013	2014	2015	2016	2017
全国	36,649	37,328	38,972	33,597	38,598
1都6県	26,713	26,830	28,675	25,319	29,310
1都6県以外	9,936	10,498	10,297	8,278	9,288



【集計表およびグラフについて】

一般入試(センター利用、前期日程、英語資格・検定試験利用(※)、全学統一日程、後期日程)の志願者数を在籍(卒業)高校基準に作成。左表中オレンジ色の都道府県は2017年度入試における試験会場設置都道府県。

(※)英語資格・検定試験利用は2017年度より実施。

6. 芝浦工業大学では

6-3 地方出身者についての考えと戦略

学生の多様化が大学の
活性化につながる

① 芝浦工業大学の考え

安定的な学生数の確保とブランド力向上のため、全国型大学をめざしている。全国から志願者・入学者を集められる大学になりたい。

反面、一都六県(特に東京都)からの志願者・入学者は大きく増加傾向にあり、「お得意様地区」での募集活動は強化せざるを得ない(売れ筋をさらに伸ばす工夫)。

② 地方出身者を増やすには

1) 経済的負担の軽減

学生寮の整備、

地方出身者向け奨学金制度の整備など

2) 認知度の向上

地方相談会、説明会への参加

予備校媒体などを利用した

受験生への働きかけ(情報提供、勧誘等)



6. 芝浦工業大学では

6-4 地方相談会

地方相談会の状況(2016年度)

	県CD	都道府県	実施回数	面談実施数計	1会場あたりの平均面談者
北海道・東北	01	北海道	7	39	6
	02	青森県	2	8	4
	03	岩手県	1	2	2
	04	宮城県	4	27	7
	05	秋田県	1	2	2
	06	山形県	1	2	2
関東	07	福島県	3	8	3
	08	茨城県	3	44	15
	09	栃木県	5	76	15
	10	群馬県	2	10	5
	11	埼玉県	9	139	15
	12	千葉県	2	47	24
	13	東京都	32	1055	33
	14	神奈川県	13	298	23
中部	15	新潟県	4	38	10
	16	富山県	2	10	5
	17	石川県	4	60	15
	18	福井県	1	6	6
	19	山梨県	3	38	13
	20	長野県	6	27	5
	22	静岡県	10	107	11
近畿	23	愛知県	6	67	11
	27	大阪府	6	43	7
中国	32	島根県	1	3	3
	33	岡山県	2	11	6
	34	広島県	5	57	11
四国	37	香川県	4	39	10
	38	愛媛県	2	20	10
	39	高知県	2	6	3
九州・沖縄	40	福岡県	5	57	11
	42	長崎県	1	3	3
	43	熊本県	2	12	6
	44	大分県	1	4	4
	45	宮崎県	2	37	19
	46	鹿児島県	3	43	14
	47	沖縄県	4	21	5

1) 相談会は、受験進学関連業者が企画し、大学がこれに応じ、参加する。

2) 毎年、160強の会場で、進学相談会を行う。
→ 毎年の状況(実績)を見て、翌年の開催を判断する。

3) 関西以西地区での相談会開催は多くはない。
→ 北陸、中国地方での開催は少ない。

4) 1都6県以外の地区では、国公立大学への進学希望者が多い。

5) 相談会での芝浦工業大学の人気は高い。
→ 特に芝浦工業大学ブース訪問者は本学を第一志望とするケースが多い。

:1会場あたりの平均面談者が10名以上

:1会場あたりの平均面談者が5名以下

6. 芝浦工業大学では

6-5 地方会場試験

一般入試会場別入試の状況

年度	会場CD	会場	志願者数	受験者数
2017	A	豊洲	6996	6662
2017	B	大宮	5696	5464
2017	C	札幌	210	200
2017	D	仙台	619	594
2017	E	水戸	527	513
2017	F	新潟	261	253
2017	G	長野	382	372
2017	H	静岡	560	541
2017	J	名古屋	689	659
2017	K	大阪	202	192
2017	L	広島	253	235
2017	M	福岡	578	560
2017	N	横浜	1993	1899
2017	P	浜松	280	278
2017	Q	芝浦	1070	1039
2017	R	前橋	477	470
2017	S	千葉	1332	1284
2017	T	町田	1043	990

- 1) 芝浦工業大学は、毎年、18試験会場(豊洲、大宮、芝浦含む)で一般入試を行っている。
- 2) 地方会場で入試が実施されることが芝浦工業大学への志望動機になることはない。ただし、受験生にとって、時間とお金が節約できるメリットは大きく、二次的な志望動機にであることは確実。
- 3) 地方相談会などの反応から、北陸、中国地方に試験会場を設けることはしていない。ただし、広島は、札幌、仙台、新潟、長野などと同様、毎年少数ではあるが確実に志願者が存在することから、試験会場を設けている。
- 4) 近年は、関東を中心に試験会場を増やしてきている。水戸、横浜、前橋、千葉、町田など。

6. 芝浦工業大学では

6-6 出身地別在学生の状況

DATA

在学生数や留学生数など、芝浦工大で学ぶ学生に関するデータをご紹介します。

出身高校所在地別在学生数 (2017年5月1日現在)

	学部生	大学院生	計
北海道地方			
北海道	83	6	89
東北地方			
青森県	23	5	28
岩手県	23	2	25
宮城県	116	14	130
秋田県	10	6	16
山形県	22	4	26
福島県	103	11	114
関東地方			
茨城県	328	45	373
栃木県	231	26	257
群馬県	182	17	199
埼玉県	1,439	209	1,648
千葉県	812	114	926
東京都	2,085	256	2,341
神奈川県	815	125	940
中部地方			
新潟県	105	11	116
富山県	33	2	35
石川県	15	5	20
福井県	7	0	7
山梨県	93	10	103
長野県	146	13	159
岐阜県	29	7	36
静岡県	275	39	314
愛知県	109	10	119
三重県	22	3	25
近畿地方			
滋賀県	5	1	6
京都府	8	1	9
大阪府	17	4	21
兵庫県	14	2	16
奈良県	5	1	6
和歌山県	4	0	4
中国地方			
鳥取県	1	0	1
島根県	3	0	3
岡山県	12	1	13
広島県	49	8	57
山口県	10	4	14
四国地方			
徳島県	7	1	8
香川県	7	0	7
愛媛県	26	0	26
高知県	15	3	18
九州地方・沖縄地方			
福岡県	92	17	109
佐賀県	18	2	20
長崎県	13	0	13
熊本県	8	2	10
大分県	13	1	14
宮崎県	7	1	8
鹿児島県	18	0	18
沖縄県	4	1	5
その他(海外など)			
	166	80	246

在学生数 (2017年5月1日現在)

	学部生	大学院生	計
合計	7,628	1,070	8,698

※大学院工学マネジメント研究科は除く。

学部	工学部	システム 理工学部	デザイン 工学部	建築学部	合計
1年次	1,141 (155)	508 (89)	175 (58)	270 (85)	2,094 (385)
2年次	1,221 (165)	475 (94)	174 (51)	—	1,870 (310)
3年次	1,110 (150)	546 (95)	149 (47)	—	1,805 (292)
4年次	1,233 (163)	476 (68)	150 (38)	—	1,859 (267)
計	4,705 (633)	2,005 (346)	648 (190)	270 (85)	7,628 (1,254)

※()内は女子学生内数

大学院	理工学研究科 [修士課程]	理工学研究科 [博士(後期)課程]
1年次	522(67)	24(3)
2年次	477(55)	23(5)
3年次	—	24(7)
計	999(122)	71(15)

2018年度版
「芝浦工業大学」大学案内
から抜粋

- 1) 志願者の状況にほぼ正比例する形で在学生の出身地も分布している。
- 2) 一都六県出身者は全体の75%強にあたる。
- 3) 近畿、中国、四国、九州・沖縄地方からの入学者は5%弱である。

6. 芝浦工業大学では

6-7 地方在住卒業生や校友会の活動例

① 地元の学校訪問

1) 福井支部の事例

- ・県内各地の高校(卒業生母校等)を定期的に訪問、芝浦工大をPR
- ・「芝浦工大魅力発信講座(IN FUKUI 2012)」の開催
→ 支部総会に合わせて開催(総会出席の大学関係者の活用)

2) 石川支部の事例

支部長が出身高校OBを同伴し、その卒業高校を訪問、校長や進路指導教諭と懇談

3) 四国各支部が行っていた過去の事例

大学から資料(大学案内等)を取り寄せ、卒業生個人単位で母校訪問

② 地方在住入試アドバイザー制度(静岡、群馬、栃木の例)

大学からの依頼に基づき、地元有力校への資料配り、相談会などを行い、志願者増に一定の成果をあげる。大学との連携(情報交換等)や費用精算などの煩雑さが負担となり、現在は休止状態にある。

6. 芝浦工業大学では

6-6 地方在住卒業生や校友会の活動例

③ 問題点など

1) 高校側進路担当者との対応

- ・限られた時間の中で、的確な説明が必要
- ・訪問先高校の方針、成績水準等の理解
- ・芝浦工大の現状や将来に係る的確な理解、他私大との違いの把握

2) 大学との連携に伴う負担

- ・連携に必要な時間や費用の負担

6. 芝浦工業大学では 6-7 Uターン就職の状況

(出典:2018年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査)

Uターン就職は首都4都県以外の出身者の20.9%

- ・地域により就職者数や企業と公務員のバランスに大きなばらつき
- ・IT系の企業は首都圏や大都市圏に集中
- ・Uターン比率は全国的にも低い

地元企業への就職希望者(県内進学者72% 県外進学者35%)

- ・就職は自己実現の機会であるという意識の浸透

本学地域別Uターン就職者数

